2023年（令和5年）
2月10日
（金曜日）

THE KENSETSU MIRAI TSUSIN
建設未来通信

茨城全県版
発行所：茨城県水戸市笠原町1523-3 桂ビル2階
TEL:029-291-8855 FAX:029-291-8854
https://www.kensetsumirai.co.jp
新聞購読料　月額5,940円（税込）
電子版購読料　月額4,400円（税込）

人と環境の未来を創造する
大昭建設株式会社
代表取締役 細谷 武史
本 社／〒301-0822 茨城県龍ケ崎市1686番地
TEL 0297-64-1511 FAX 0297-64-1516
http//www.daisho-c.co.jp

いばらきの公共事業 ～歴史をたどり、後世に残す～ 県水戸土木事務所編③

「梅香トンネル」と「千波大橋交差点」は大活躍

渡邊 一夫 氏（元県土木部長／当時・県水戸土木事務所長）
×
大久保 幸雄 氏（元土木部技監兼下水道課長／当時・県水戸土木事務所道路整備第一課長）

私は散歩が大好きです。水戸市内では、千波湖を一周したり、桜川の堤防を歩いたりします。時々、文化センター前交差点から千波大橋を渡って、千波大橋交差点を左に曲がり、梅香トンネルまで車の流れを確認しながら歩いたりしています。明日から「梅まつり」が始まります。渋滞もなく、県内外からたくさんの方が来ることも、今では楽しみの一つです。

私は、県道路建設課に所属していた頃、この梅香トンネルの建設に大きく関わっていました。思った以上に地盤が悪く、難工事であり、予算も大幅にオーバーしてしまいましたが、無事完成した時は本当に嬉しく「良かった、よかった」と思いました。

しかし、トンネル利用の交通量が増加したため、今度はトンネルの先、千波大橋交差点付近が大渋滞してしまいました。

水戸土木事務所の所長になってからも、なんとかこの大渋滞を解消できないかと考え、何度も何度も現場に足を運んでいました。

交差点では、右折車は右折車線を使って曲がり、四車線で右折車線がない場合、内側車線を使うのが通例です。しかし、この千波大橋交差点の場合、トンネル側からは右折交通が主交通となるため、さばききれずに渋滞が起きるのです。そのため、内側車線に加え、外側車線も右折に使えないかと考えました。

逆に、文化センター側からは、左折交通が主となり、外側車線を左折専用にしているわけですが、この左折できる時間をもっとのばせないかと考えました。

さっそく担当課長に指示を出し、この考えを県警察と水戸市に協議してもらいました。

県警察も、突然の話でしたが、快く協議に応じてくれたそうです。結果的には、三者で協力して文化センター前交差点も含めて改良することになりました。

この時、私はある条件を出しました。「どうせなら、水戸の梅まつり開催に間に合わせよう」と考えたのです。

私がこの話を持ち出したのは、前年の11月でした。水戸の梅まつりが始まるのは、2月中旬です。誰もが不可能だと思うような工期でした。しかし、確実かつスピーディに、関係者全員で協力しながら、事業を進めていきました。

結果、大急ぎではありましたが、プロジェクトは大成功。渋滞は見事に解消されました。

私は、梅まつりの時期になると、この時のことを思い出します。一緒に知恵を出し、苦労された方々も、きっと同じ思いだと思います。

▲右折車がスムーズに流れる千波大橋交差点

大渋滞解消へ 短期間で完成

当時の所長である渡邊さんから、道路整備第一課長の私が「来年の梅まつりまでに千波大橋付近の交差点改良を行い、渋滞を解消する」という指示を受けたのは、2005年11月のこと。年度末に差しかかる時期の、突然の話です。当然予算は無く、計画は全くの白紙からのスタートでした。

工事の内容は、交通量の解析、路面標示、信号機の変更など。通常ペースで実施した場合、順調にいって2~3年程度はかかる工事です。これを、梅まつりまでの数カ月で完成させなくてはなりません。

まずは予算の確保。所長の指示が徹底していたこともあり、この作業はスムーズにいきました。

図面を用意する時間は無かったため、住宅地図をつなぎ合わせた関係地形図を、警察協議の図面としました。このような急ごしらえの図面で協議をしたことなどなかったので、本当に心配でした。地図は、広げるのが恥ずかしくなるほど長く、県警の担当者も地図を見て驚いていました。

詳細設計に必要な交通量調査は、時間もないため、事務所直営で行いました。調査当時は真冬。24時間の調査は厳しいものでした。

そうして完成した詳細設計に基づき、県警との協議を続けました。当時の県警の方が「県がここまでの熱意を持っているのだから、県警としても、どうしてもこの事業を進めたい」と言ってくださったのを覚えています。我々の熱意や心意気に賛同してくださったのだと思うと、大変感激しました。

多くの方々の協力もあり、工事は無事梅まつり前に完了しました。こんなに短期間で公共事業が完了するのは、我々も初めてのことでした。

供用開始の前日には、関係者が集う盛大な飲み会を行いました。私は進行役として、冒頭の挨拶で「今日の出席者は、全員がご努力いただいた工事関係者です。皆様のおかげで、あす供用を開始できます」と感謝の言葉を述べたことを覚えています。

そうして迎えた翌日。二日酔いで頭が痛いながらに、供用を開始した交差点の車の流れを、ゆっくりと嬉しい思いで眺めました。この時「公共事業とは、本当に素晴らしいものだ」と思いました。

この工事を振り返ってみて、改めて思ったのは「トップの固い意志と強力なリーダーシップがあれば、公共工事ですら劇的に変化する」ということ。

本当のリーダーシップとは、上から「やれ」と命じることではなく、部下を仕事に向き合わせる力。トップが渡邊所長だったからこそ、どんなに追い詰められても「やろう」と思うことができたように思います。

大久保 幸雄（おおくぼ ゆきお）
1953年8月8日生まれ。69歳。80年に茨城県庁へ入庁。初所属は道路建設課橋梁係。その後、水戸土木事務所道路整備第一課長、技監兼下水道課長などを経て、2014年に企業局次長で定年を迎えた。

いばらきの公共事業を紐解く

管理運営事業者が決定
公募プロポ結果公表 Sーデポ等6施設 境町

境町は、6施設の管理運営事業者の公募型プロポーザルを実施。（仮称）Sーデポ、アーバンスポーツパーク2ndはABCプランニング㈱、グランピング施設は㈱フレス、ドローンラボ・ドローンフィールドは㈱ACSL、ブランド研究開発拠点施設、物流拠点施設は㈱さかいまちづくり公社を選定した。供用開始は2023年度中、指定管理期間は5年間を想定。業務内容は、施設の管理運営、施設および設備等の維持管理に関することなど。

Sーデポの建設地は上小橋563ー1（敷地面積約4439㎡）。東京2020オリンピック等で使用したBMXフリースタイル専用パークの機能充実に向け、屋根や照明を整備する。

グランピング施設の建設地は西泉田1224ー1ほか（約3000㎡）。グランピング棟4棟はW造平屋建て、各100㎡程。管理棟はW造平屋建て、約46㎡。テントサイトは4区画。

ドローン施設の建設地は塚崎1988ー1ほか（約8810㎡）。研究開発・人材育成棟はS造平屋建て、約98坪、屋内実験棟はS造平屋建て、約196坪、飛行実験用ハウスはS造平屋建て、約15坪、緩衝ネット飛行場はS造および緩衝ネットで構成、約30坪。

ブランド研究開発拠点施設の整備予定地は、上小橋4871ほか（約2900㎡）。研究開発施設はS造平屋建て、延べ面積約380㎡、原料等倉庫はS造平屋建て、延べ面積約180㎡。

物流施設の建設地は上小橋4872ほか（約3000㎡）。S造2階建て、延べ面積1030㎡ほど。また、倉庫、トイレ、事務室、休憩室なども整備する。

建設関連総合ニュース

公園の木道改築工事 1四半期にも一般公告 常総

県常総工事事務所は、砂沼広域公園（長塚乙4ー1）の菖蒲園内にある木道改築工事を進めている。改築工事（その2）について、2023年度の第1四半期に、一般競争入札を公告する予定だ。工期は6カ月を見込んでいる。

菖蒲園（水生植物ゾーン）は、園内東側にある観桜苑の中に位置する。園内を通る木製の遊歩道について、既存のものを撤去し、新たな木道を設置していく。施工延長は約60m。菖蒲園の面積は約2000㎡。

本年度発注分である改築工事（その1）については、㈱下妻建設が担当した。

砂沼広域公園の全体面積は、湖水面積含め約80ha。観桜苑のほか、砂沼球場やテニスコートなどのスポーツ施設、サイクリングルートなどがある。

設計イメージ図展示 総和地域交流センター 古河市／ヒアリングも実施

古河市は、建設予定である総和地域交流センターの設計イメージ図等を展示する、パネル展を開催する。申し込み不要で、自由に立ち寄ることが可能。施設に対する要望や意見のヒアリングも行うとのこと。

パネル展を行う施設は、中央公民館（2月13日から19日、担当職員常駐日は19日）、古河図書館（2月20日から26日、担当職員常駐日は25日）、三和図書館（2月20日から26日、担当職員常駐日は26日）、さくら公民館（2月27日から3月5日、担当職員常駐日は3月4日）、ふれあい公民館（2月27日から3月5日、担当職員常駐日は3月4日）。

担当職員常駐日以外は、意見箱を利用する。

新施設の整備予定地は、総和庁舎・中央公民館の敷地。建物規模は約2100～2500㎡ほどを想定している。

設計業務は昭和設計・日本工営都市空間JVが担当。2024年1月31日を目途に策定する。

24、25年度に新築工事（一部外構含む）、25、26年度に解体工事（残り外構含む）を行う予定だ。

この件についての問い合わせは社会教育施設課（TEL0280ー92ー4501）まで。

村内の空家対策で協定締結
適正管理促し生活環境を保全
東海村と東海村建設業協同組合

東海村（山田修村長＝写真中央）と東海村建設業協同組合（澤畠弘樹理事長＝写真左から2人目）は7日、空家等対策に係る協定締結式を執り行った。協業により空家等の適正管理などを促し、生活環境の保全や安全な地域社会の実現を目指していく。

冒頭、山田村長は「村内には226件の空家があり、協定が締結できたことを心強く感じている。空家対策がより具体化していくことを期待している」とあいさつ。

来賓の越智辰哉村議会議長（写真右から2人目）は「今回の協定が空家対策の大きな前進につながるものと確信している」と述べた。

澤畠理事長は「組合員は解体や新築、リフォームなどに対応でき、プロの目線でアドバイスを送ることもできる。組合員17社が一丸となって、村内の住環境の整備や地域活性化に貢献してまいる」と意気込みを述べた。

当日は山田村長と澤畠理事長が協定書に署名。協定書によると、村が空家の所有者から相談を受けた場合、村は組合の業務を所有者へ紹介する。また、村のHPを通じて組合が対応する業務などを発信する。

プロの目線でアドバイス

協建 茨建 企業90社のガイドブック 建設系約300校に配布

県建設業協会（石津健光会長）は、担い手の確保や若年者の入職促進を図るため新たな試みとして、県内建設企業を紹介する冊子「いばらき建設企業ガイドブック2023」を作成した。県内の高校や大学、専門学校をはじめ、関東を中心に建設系学校約300校へ配布する。

掲載企業数は90社。発行部数は8000部。写真を多用して各社の会社概要、採用実績、PR・メッセージ、特長、施工事例、先輩インタビューなどを紹介。土木系・建築系・事務系ごとのインターンシップ受入情報も掲載している。

ガイドブックは、いばらき建設業 就職応援サイト（https://ibakenjob.com/introduce/guidebook2023）から閲覧することができる。

橋梁架設工で夜間通行止め
ネクスコ東日本

東日本高速道路㈱は、牛久市内の国道6号で夜間通行止めを実施する。日時は22日の午後10時～翌朝4時まで。圏央道4車線化事業の橋梁一括架設工事に伴うもの。

通行止め区間は、国道6号ひたち野北入口交差点～学園都市南入口交差点。施工箇所は圏央道と国道6号が交差する箇所で、大型クレーンを使用して、高架橋の一括架設工事を実施する。

迂回路は牛久市道21号と国道408号。迂回した場合、所要時間は約15分（通常約10分）かかる見込み。予備日は24日午後10時～翌朝4時とし、荒天時は延期する。

宮田遺跡で埋文調査
18日に成果報告会開催 大洗町

大洗町は、都市計画道路吉沼磯浜線および関根祝町線の整備に伴い、磯浜町地内で宮田遺跡の埋蔵文化財調査を実施している。今月18日に町営墓地北側の現場で発掘調査成果の報告会を行う。入場無料。定員100人。

吉沼磯浜線は、国道245号（水戸市小泉町）に接続する道路として計画されている路線。

宮田遺跡では、弥生時代後期以降の土器や、竪穴建物跡墓などの遺構が発掘されている。昨年8月には関東文化財振興会㈱へ埋蔵文化財調査業務を委託した。

県土木部・幹部 きょうの動向
（○＝在庁 ●＝不在）

［本 課］	午前	午後
部長	○	○
次長（事）	○	○
次長（技）	○	○
都市局長	○	○
港湾振興監	○	○
企画監	○	○
監理課長	○	○
用地課長	○	○
検査指導課長	○	○
道路建設課長	○	○
道路維持課長	○	○
河川課長	○	○
港湾課長	○	○
営繕課長	○	○
都市計画課長	○	○
都市整備課長	○	○
下水道課長	○	○
建築指導課長	○	○
住宅課長	○	○

［出 先］	午前	午後
水戸土木所長	●	○
常陸大宮土木所長	○	○
大子工務所長	○	○
潮来土木所長	●	●
土浦土木所長	○	○
筑西土木所長	●	○
常陸太田土木所長	○	○
高萩土木所長	○	○
鉾田土木所長	●	●
竜ケ崎工事所長	○	○
常総工事所長	●	●
境工事所長	○	○